

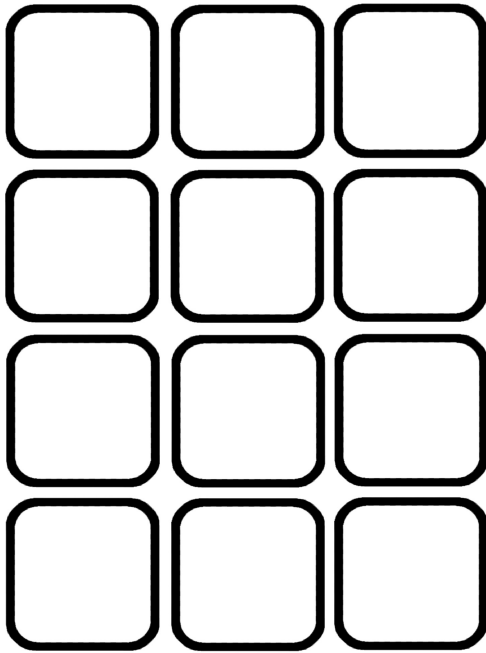
「スタンプを自作する(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

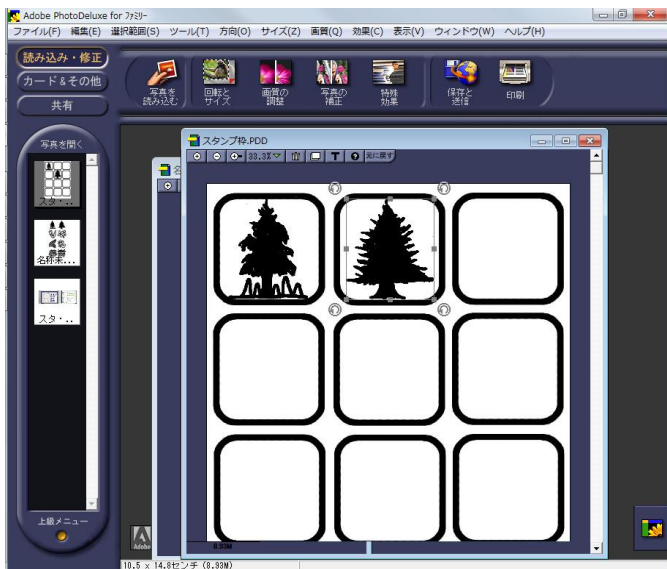
手作りスタンプに使う印材(スタンプの凹凸面を創り出す実体)は、プロが使うゴムとはちがう。「紫外線硬化樹脂」というもので、ゴムに比べると、耐久性



は劣る。(それでも5~6年は使える)少しでも耐久性を上げる為には、しっかりした「枠」があったほうが良い。そこで図のような枠の画像を用意しておく方が良い。



枠に画像をはめ込んだものがこれだ。印材(紫外線硬化樹脂)の大きさに合わせて、縦15cm、横10cmの大きさに仕上げある。「フォトデラックス」は任意の場所に文字も入力できるので、いろいろな文字も入れてみた。文字は「ゴシック体」のような、縦横線とも太い字体のほうが、丈夫なスタンプになる。



その枠も「フォトデラックス」(画像レタッチソフト)に取り込み、そこに手描きのイラストを貼り付けていく。このあたりの作業は慣れが必要なので、最初から枠のついたイラストを描いて、そのままスキャナーで読み取るのが、一番簡単な方法だ。



この画像の白黒を反転させる。「ネガ効果」を使うこの状態で「上質紙」(コピー用紙)に印刷する。